

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年2月7日(2023.2.7)

【公開番号】特開2021-132902(P2021-132902A)

【公開日】令和3年9月13日(2021.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2021-043

【出願番号】特願2020-31972(P2020-31972)

【国際特許分類】

A 6 1 J 7/00(2006.01)

A 6 1 J 7/04(2006.01)

A 6 1 J 1/14(2023.01)

G 1 6 H 70/40(2018.01)

G 1 6 H 40/00(2018.01)

【F I】

A 6 1 J 7/00 Z

A 6 1 J 7/04 A

A 6 1 J 1/00 4 3 0

G 1 6 H 70/40

G 1 6 H 40/00

【手続補正書】

【提出日】令和5年1月30日(2023.1.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の薬剤包装の服用時期の管理を支援する服薬支援システムであって、

それぞれの前記薬剤包装には、読取可能な位置に自己を特定するための情報である薬剤包装特定情報が付されており、

処方に関する情報である処方情報を記憶する記憶手段と、前記薬剤包装特定情報を読み取り可能な読取手段とを有し、

服用者及び服用時期が同じ薬剤が内包された複数の前記薬剤包装のうちの一の前記薬剤包装に付された前記薬剤包装特定情報を読み取ることを条件として、読み取った前記薬剤包装特定情報と前記処方情報に基づき、服用者及び服用時期が同じ前記薬剤包装の数を特定する包数特定動作を実行可能であることを特徴とする服薬支援システム。

【請求項2】

前記薬剤包装をセットする薬剤セット具を有し、

服用者及び服用時期が同じ薬剤が内包された複数の前記薬剤包装の群である薬剤包装群を対象とした関連包読取動作を実行可能であり、

前記関連包読取動作では、前記薬剤包装群に属する前記薬剤包装のそれぞれに付された前記薬剤包装特定情報を読み取るものであり、

前記薬剤セット具の所定位置に前記薬剤包装群に属する前記薬剤包装を重ねてセットするものであり、前記薬剤セット具に前記薬剤包装を正しくセットしたか否かを判別する配置位置確認動作を実行可能であり、

前記配置位置確認動作では、重ねてセットした前記薬剤包装のうちの一つが識別され、識別された一つの前記薬剤包装が正しい位置にセットされていることを条件として、前記

10

20

30

40

50

薬剤包装群に属する複数の前記薬剤包装が正しい位置に配置されていると判別することを特徴とする請求項 1 に記載の服薬支援システム。

【請求項 3】

服用者及び服用時期が同じ薬剤が内包された複数の前記薬剤包装の群である薬剤包装群を対象とした関連包読取動作を実行可能であり、

前記関連包読取動作は、前記薬剤包装群に属する前記薬剤包装のそれぞれに付された前記薬剤包装特定情報を読み取るものであり、

前記関連包読取動作で読み取りの対象となる前記薬剤包装特定情報のいずれかが読み取られていない場合に、その旨を報知する未読取報知動作を実行することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の服薬支援システム。

10

【請求項 4】

一の前記薬剤包装群に対する前記関連包読取動作の実行後、一の前記薬剤包装群に属する前記薬剤包装のうちの一の前記薬剤包装に付された前記薬剤包装特定情報が読み取られたことを条件として、前記薬剤包装群に属するそれぞれの前記薬剤包装に付された前記薬剤包装特定情報が全て読み込まれたか否かを判別し、

当該判別の結果、前記薬剤包装群に属する前記薬剤包装のいずれかに付された前記薬剤包装特定情報が読み取られていない場合に、その旨を報知する未読取報知動作を実行することを特徴とする請求項 3 に記載の服薬支援システム。

【請求項 5】

前記薬剤包装は、分包機によって包装されるものであり、

20

服用者及び服用時期が同じ薬剤が包装された複数の前記薬剤包装の群を薬剤包装群としたとき、前記薬剤包装群には、同一の分包機で不連続に包装された複数の前記薬剤包装、及び／又は、異なる分包機によってそれぞれ別途包装された複数の前記薬剤包装が含まれるものであり、

前記薬剤包装群に属する複数の前記薬剤包装には、複数の前記薬剤包装に跨って付される薬包関連表示が付されるものであり、

前記薬包関連表示は、前記薬剤包装群に属する複数の前記薬剤包装を並べて配置したとき、一連の図柄を形成することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の服薬支援システム。

【請求項 6】

30

複数の前記薬剤包装をセットする薬剤セット具と、撮影手段を有し、

前記薬剤セット具は、一又は複数の前記薬剤包装を収容可能な薬剤収容部を複数有し、

複数の前記薬剤収容部には、それぞれ一又は複数の前記薬剤包装が対応付けられており、それぞれの前記薬剤収容部に対応する前記薬剤包装を収容することで、前記薬剤包装が前記薬剤セット具にセットされ、前記薬剤包装特定情報が外部から読取可能となるものであり、

前記薬剤包装の正しいセット位置に関する情報を正規位置情報として記憶しており、

前記薬剤セット具に前記薬剤包装を正しくセットしたか否かを判別する配置位置確認動作を実行可能であり、

前記配置位置確認動作では、前記薬剤セット具が、それぞれの前記薬剤収容部に収容された前記薬剤包装の前記薬剤包装特定情報を含むように撮影され、それぞれの前記薬剤包装特定情報の読み取りが実行されるものであり、且つ、前記薬剤包装特定情報の読み取りに基づいて識別されたそれぞれの前記薬剤包装と、前記薬剤セット具の相対位置に関する情報が取得され、

40

それぞれの前記薬剤包装の前記薬剤セット具に対する相対位置に関する情報と、前記正規位置情報とを比較することで、それぞれの前記薬剤収容部に前記薬剤包装が正しく収容されているか否かを判別するものであり、

一の前記薬剤収容部に複数の前記薬剤包装が収容されている場合には、収容された前記薬剤包装のうちの一つが識別され、識別された一つの前記薬剤包装が正しい位置に収容されていることを条件として、複数の前記薬剤包装が正しい位置に収容されていると判断す

50

ることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載の服薬支援システム。

【請求項 7】

服用者及び服用時期が同じ薬剤が内包された複数の前記薬剤包装のそれぞれに付された前記薬剤包装特定情報を読み取る関連包読取動作が実行可能であり、

前記関連包読取動作の実行後、服用者及び服用時期が同じ薬剤が内包された前記薬剤包装が追加された場合に、前記関連包読取動作を再度実行するものであり、

再度実行する前記関連包読取動作では、先行して実行した前記関連包読取動作で読み取った複数の前記薬剤包装特定情報のうちのひとつと、追加された前記薬剤包装に付された前記薬剤包装特定情報とを読み取ることで、前記関連包読取動作が正常に終了したものと判断することを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載の服薬支援システム。

10

【請求項 8】

請求項 6 に記載の服薬支援システムを使用し、前記薬剤セット具の前記薬剤収容部に前記薬剤包装を正しく収容したか否かを確認する服薬支援方法であって、

服用者及び服用時期が同じ薬剤が内包された複数の前記薬剤包装のそれぞれに付された前記薬剤包装特定情報を読み取る事前読取工程と、

服用者及び服用時期が同じ薬剤が包装された複数の前記薬剤包装を重ねて一纏めにする収容準備工程と、

前記薬剤セット具の前記薬剤収容部に対応付けられた前記薬剤包装を収容する薬剤包装収容工程と、

前記薬剤セット具の前記薬剤収容部に前記薬剤包装を正しく収容したか否かを判別する配置位置確認工程を含み、

20

前記配置位置確認工程では、前記収容準備工程で一纏めにした複数の前記薬剤包装が正しく収容されているか否かを判別するとき、複数の前記薬剤包装のうちのーの前記薬剤包装が正しい位置に収容されていることを条件として、複数の前記薬剤包装が正しい位置に収容されていると判別することを特徴とする服薬支援方法。

【請求項 9】

服用時期が同じ薬剤包装の数を特定する動作をコンピュータに実行させるための服薬支援プログラムであって、

コンピュータに、前記薬剤包装に付された自己を特定するための情報である薬剤包装特定情報を読み取る動作と、前記薬剤包装特定情報と処方に関する情報である処方情報を比較する動作と、服用者及び服用時期が同じ薬剤が内包された複数の前記薬剤包装に付されている前記薬剤包装特定情報のいずれか一つを読み取ることで、服用者及び服用時期が同じ前記薬剤包装の数を特定する包数特定動作とを実行させる機能を有することを特徴とする服薬支援プログラム。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

40

上記課題を解決するための本発明の一つの様相は、複数の薬剤包装の服用時期の管理を支援する服薬支援システムであって、それぞれの前記薬剤包装には、読取可能な位置に自己を特定するための情報である薬剤包装特定情報が付されており、処方に関する情報である処方情報を記憶する記憶手段と、前記薬剤包装特定情報を読み取り可能な読取手段とを有し、服用者及び服用時期が同じ薬剤が内包された複数の前記薬剤包装のうちのーの前記薬剤包装に付された前記薬剤包装特定情報を読み取ることを条件として、読み取った前記薬剤包装特定情報と前記処方情報に基づき、服用者及び服用時期が同じ前記薬剤包装の数を特定する包数特定動作を実行可能であることを特徴とする服薬支援システムである。

本様相に関連する様相は、複数の薬剤包装の服用時期の管理を支援する服薬支援システムであって、それぞれの前記薬剤包装には、視認可能な位置に自己を特定するための情報で

50

ある薬剤包装特定情報が付されており、処方に関する情報である処方情報を記憶する記憶手段と、前記薬剤包装特定情報を読み取り可能な読取手段とを有し、服用者及び服用時期が同じ薬剤が内包された複数の前記薬剤包装のうちの一の前記薬剤包装に付された前記薬剤包装特定情報を読み取ることを条件として、読み取った前記薬剤包装特定情報と前記処方情報に基づき、服用者及び服用時期が同じ前記薬剤包装の数を特定する包数特定動作を実行可能であることを特徴とする服薬支援システムである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

上記した様相の服薬支援システムは、複数の前記薬剤包装をセットする薬剤セット具と、撮影手段を有し、前記薬剤セット具は、一又は複数の前記薬剤包装を収容可能な薬剤収容部を複数有し、複数の前記薬剤収容部には、それぞれ一又は複数の前記薬剤包装が対応付けられており、それぞれの前記薬剤収容部に対応する前記薬剤包装を収容することで、前記薬剤包装が前記薬剤セット具にセットされ、前記薬剤包装特定情報が外部から読取可能となるものであり、前記薬剤包装の正しいセット位置に関する情報を正規位置情報として記憶しており、前記薬剤セット具に前記薬剤包装を正しくセットしたか否かを判別する配置位置確認動作を実行可能であり、前記配置位置確認動作では、前記薬剤セット具が、それぞれの前記薬剤収容部に収容された前記薬剤包装の前記薬剤包装特定情報を含むように撮影され、それぞれの前記薬剤包装特定情報の読み取りが実行されるものであり、且つ、前記薬剤包装特定情報の読み取りに基づいて識別されたそれぞれの前記薬剤包装と、前記薬剤セット具の相対位置に関する情報が取得され、それぞれの前記薬剤包装の前記薬剤セット具に対する相対位置に関する情報と、前記正規位置情報とを比較することで、それぞれの前記薬剤収容部に前記薬剤包装が正しく収容されているか否かを判別するものであり、一の前記薬剤収容部に複数の前記薬剤包装が収容されている場合には、収容された前記薬剤包装のうちの一つが識別され、識別された一つの前記薬剤包装が正しい位置に収容されていることを条件として、複数の前記薬剤包装が正しい位置に収容されていると判断することが好ましい。

また、上記した様相の服薬支援システムは、複数の前記薬剤包装をセットする薬剤セット具と、撮影手段を有し、前記薬剤セット具は、一又は複数の前記薬剤包装を収容可能な薬剤収容部を複数有し、複数の前記薬剤収容部には、それぞれ一又は複数の前記薬剤包装が対応付けられており、それぞれの前記薬剤収容部に対応する前記薬剤包装を収容することで、前記薬剤包装が前記薬剤セット具にセットされ、前記薬剤包装特定情報が外部から視認可能となるものであり、前記薬剤包装の正しいセット位置に関する情報を正規位置情報として記憶しており、前記薬剤セット具に前記薬剤包装を正しくセットしたか否かを判別する配置位置確認動作を実行可能であり、前記配置位置確認動作では、前記薬剤セット具が、それぞれの前記薬剤収容部に収容された前記薬剤包装の前記薬剤包装特定情報を含むように撮影され、それぞれの前記薬剤包装特定情報の読み取りが実行されるものであり、且つ、前記薬剤包装特定情報の読み取りに基づいて識別されたそれぞれの前記薬剤包装と、前記薬剤セット具の相対位置に関する情報が取得され、それぞれの前記薬剤包装の前記薬剤セット具に対する相対位置に関する情報と、前記正規位置情報とを比較することで、それぞれの前記薬剤収容部に前記薬剤包装が正しく収容されているか否かを判別するものであり、一の前記薬剤収容部に複数の前記薬剤包装が収容されている場合には、収容された前記薬剤包装のうちの一つが識別され、識別された一つの前記薬剤包装が正しい位置に収容されていることを条件として、複数の前記薬剤包装が正しい位置に収容されていると判断することが好ましい。

10

20

30

40

50